

第21回東京免疫フォーラム

21th Molecular Immunology Forum Tokyo

日時: 2012 年 3 月 8 日 (木) 13:00~18:15

場所: 東京大学医科学研究所 講堂

東京都港区白金台4-6-1 <東京メトロ“白金台駅”下車、徒歩5分>

《 挨拶 》 齊藤 隆 (理化学研究所) 13:00-13:05

Session 1 座長: 三宅 健介 (東大医科研)

山崎 聡 (東大医科研) 13:05-13:30

「造血幹細胞を制御する骨髄微小環境」

岩井佳子 (東京医科歯科大) 13:30-13:55

「Effector CD8 T 細胞の分化とエネルギー代謝における BATF の役割」

遠藤裕介 (千葉大学大学院・医学研究院) 13:55-14:20

「Eomesodermin controls the function of IL-5-producing pathogenic memory Th2 cells」

多根 (橋本) 彰子 (理化学研究所・免疫アレルギー科学総合研究センター) 14:20-14:45

「モーター分子ダイニンによる T 細胞受容体ミクロクラスター輸送を介した活性化制御」

< 休 憩 15 分 >

Session 2 座長: 瀧 伸介 (信州大)

佐藤克明 (理化学研究所・免疫アレルギー科学総合研究センター) 15:00-15:25

「生体内での炎症反応と T 細胞免疫応答の制御における形質細胞様樹状細胞の役割」

福井竜太郎 (東大医科研) 15:25-15:50

「相反的な TLR7/TLR9 バランスの破綻は致死的な自然炎症を誘導する」

金 倫基 (筑波大学大学院・人間総合科学研究科) 15:50-16:15

「クローン病感受性遺伝子 Nod2 の機能解析 — 菌体認識センサー Nod2 の腸管における役割 —」

< 休 憩 15 分 >

Session 3 座長: 渋谷 彰 (筑波大学)

公募演題講演

西村 智 (東京大学循環器内科・TSBMI) 16:30-16:45

「生体分子イメージングでみる生活習慣病における免疫細胞のクロストーク」

小林俊彦 (国際医療研究センター) 16:45-17:00

「IVIg suppresses inflammation through a novel Th2 pathway」

原田陽介 (東京理科大学生命科学研究科) 17:00-17:15

「The 3' enhancer CNS2 is a crucial regulator in follicular helper T cells of IL-4 mediated humoral immunity」

特別講演 座長: 烏山 一 (東京医科歯科大)

宮坂昌之 (大阪大学医学系研究科・WPIフロンティア免疫学研究センター) 17:15-18:15

「免疫細胞動態制御の新しい機構」

< 懇 親 会 (演題終了後 於 近代医科学記念館) >

フォーラムへの参加費は無料、懇親会参加費は千円(学生無料)です。事前登録の必要はありません。